

鎌倉製作所(東京都港区、堀江威史社長、03・3403・

4311)が開発した

気化放熱式涼風装置

「クールルーフファン」

「クールクリーンファン」

に代表されるクール

シリーズが工場・事

業所にジワリと普及

し始めている。省エ

ネなど環境にやさし

い涼風装置で、室内

をきれいに保つ効果

もある。職場環境の

改善は競争力確保の

観点からも必要とさ

れており、同時に環

境配慮も求められるモノづくり企業のニ

ーズにも合致している。

中国などを交えた国際競争が激化する

中、モノづくり企業が生き残るには技術

や製品の絶えざる高付加価値化や高品質

化が不可欠。それには生産現場の快適な

環境整備が必要との認識が広まってきて

いる。特に、ここ数年の猛暑では工場内

温度が40度Cを超えるケースも珍しくな

い。酷暑の中での作業は品質確保や納期

管理などだけでなく、07年問題以降の労

働力減少の中での優秀な人材確保への影

響を懸念する声も聞こえてくる。

防暑とエコを両立① モノづくり企業の 競争力強化に貢献

株式会社 鎌倉製作所

気化放熱式涼風装置

クールルーフファン&クールグリーンファン

3つを同時に実現するのは、
気化放熱式涼風装置だけ



お問い合わせ 03(3403)4316 www.kamakura-ss.co.jp

エコミー

COP

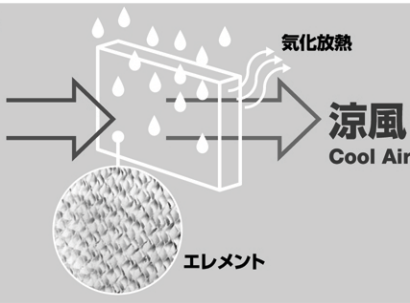
キレイ

陽圧化

スズシ

涼風

が、企業に対する環境配慮の要請は厳しさを増しており、防暑対策もエネルギー消費を増やして対応すればよいという時代ではない。京都議定書も発効しており、政府は省エネ法改訂によって企業の省エネを一部義務化しながら奨励している。防暑とエコの両立。企業の真のニーズに対応するのがクールシリーズ。給気ファンユニットに常に水が膜状に行き渡っているエレメントを組み合わせたもので、水の気化放熱によって外気を冷却しながら涼風を屋内に供給する仕組み。冷却能力は条件にもよるが最大で外気温を11度C引き下げられる。



●冷却エレメントの原理

暑い外気
Hot Air

涼風
Cool Air

エレメント

同時に、設置コスト、ランニングコストともに空調装置に比べて4分の1以下。社会の環境志向の強まりに加えてエネルギーコストの高止まりが続く今、同社では工場・事業所への普及を一段と加速させる構えだ。

(PR)